

高等学校における調べ学習の現状 －読書推進の観点による評価－

新美碧海

現在、高校生への読書推進が課題となっており、推進の手段として「情報の収集として本を使うこと」「さらに知識を得るために関連する本を読むこと」が含まれる「調べ学習」および「探究学習」が挙げられる。高等学校学習指導要領国語編には、読書活動の展開を必要とする記述があり、国語科で行う調べ学習/探究学習には読書推進としての効果が期待できる。

そこで本研究では、目的1を国語科及び他教科の調べ学習/探究学習の実態を明らかにすること、目的2を国語科調べ学習/探究学習の特徴を明らかにすること、目的3を調べ学習/探究学習が読書行動に影響を与えたと捉えられるのかを明らかにすること、補足目的を、参考事例として調べ学習/探究学習以外の読書行動に影響し得る事例の情報収集に設定し3つの調査を実施した。

調査1では目的1の検討のため、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類の1~4年生を対象に、高校時代の国語科調べ学習についてGoogleフォームでの調査を実施した。回収数は25で、読書行動に影響を与えられたと捉えられた調べ学習は3件、読書への動機づけが高められたと捉えられた調べ学習は1件の回答があった。

調査2では、目的1・2・補足目的の検討のため、子どもの読書活動優秀実践校の高等学校を対象に読書行動に影響し得る授業・取り組みの実態について4つの質問紙（国語科・総合的な探究の時間・国語科以外・司書）を対象を分け調査を実施した。有効回答数は164（国語32、総合39、国語以外61、司書31）、学校数は28校であった。生徒の読書行動に影響し得る調べ学習/探究学習を実施した回答は37件であった。「『なぜ人は学ぶのか』について論じた評論・同テーマの評論を読み学ぶ意味について考える（国語）」という授業が学習テーマに関する本をさらに読んだという読書行動に、「適性診断によって示された進路について課題点などを考え、進路探究の一助とする（総合）」という授業が読書量の増加や学習テーマに関する本をさらに読んだという読書行動に影響を与えたと捉えられていたことなどが示された。他教科と比べ国語科では、読書行動に影響を与えたと捉えられていた調べ学習/探究学習を実施していた。また、ビブリオバトルが読書行動に影響を与えたと捉えられていたことが示された。

調査3では、目的3の検討のため調査2で読書行動に影響を与えたと捉えられていた調べ学習/探究学習を実施し、追加調査協力の同意を得た教諭対象にメールにて調査を実施した。回収数は6（国語2、総合3、国語以外1）であった。「森鷗外の略歴と文学史での位置づけ/作品の梗概の確認」「料理本を参考にレストランで提供するメニューを考える」という授業後、学習テーマ関連本の質問があったと回答を得た。読書への動機づけを高め得る例として参考にできる。

以上から、本研究では生徒の読書の幅や読書量の増加等への効果が期待される調べ学習/探究学習の内容などが明らかとなった。今後は、これらの調べ学習/探究学習を行った生徒に実際どのような影響が見られるのかを検討していくことが望まれる。

（指導教員 鈴木 佳苗）